



盛岡市プレスリリース

～歴史風土に包まれた 心豊かに芸術文化が生きるまち～

令和8年8月7日

交流推進部文化国際課

市政記者クラブ加盟社 各位

「クシシュトフ・ウルバニアク パイプオルガン・リサイタル」を 開催します

公益財団法人盛岡市文化振興事業団と盛岡市は、「クシシュトフ・ウルバニアク パイプオルガン・リサイタル」を開催します。

記

【日時】 令和8年11月23日(月・祝) 14時00分から16時00分まで

【場所】 盛岡市民文化ホール 小ホール (盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス内)

【内容】 ポーランドを代表する世界的なオルガニストによるリサイタル。盛岡市民文化ホールのオルガンの特色に合わせたプログラムをお届けします。

【出演】 クシシュトフ・ウルバニアク

【チケットの一般発売】 8月20日(木)よりチケット発売

【チケット料金】 S席3,500円、A席2,500円、U-25チケット2,000円(当日各500円増)

【定員】 356席(車椅子席込)

【主催】 公益財団法人盛岡市文化振興事業団

【共催】 盛岡市、岩手日報社

【後援】 テレビ岩手

【添付資料】 チラシ資料

【宣材写真の提供】 事前周知等でお取り上げいただける場合、出演者の写真等を提供できます。

【問い合わせ】

公益財団法人盛岡市文化振興事業団 企画事業部 藤澤(ふじさわ)

TEL:019-621-5151 FAX:019-621-5101

【担当】

盛岡市 交流推進部 文化国際課 芸術文化係

担当:小舘(こだて)

TEL:019-613-8465(直通)

E-mail:bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp

Krzysztof Urbaniak

クシシュトフ・ウルバニアク

パイプオルガン・リサイタル



ポーランドを代表する世界的オルガニスト、
クシシュトフ・ウルバニアクによる
パイプオルガン・リサイタル。
盛岡のオルガンの特色に合わせたプログラム。
名曲の数々をお届けします。

Program

J.S. バッハ：幻想曲 ト長調 BWV572

D. ブクステフーデ：

「天にいますわれらの父よ」 BuxWV219 (ほか)

※曲目は変更となる場合があります。

2026 **11.23** (月・祝) 開演 14:00
(開場 13:30)

盛岡市民文化ホール 小ホール

盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス1F <https://www.mfca.jp/shiminbunka/>

前売料金

S席3,500円 A席2,500円

U-25チケット(S・A席選択可)2,000円

m-Friends 料金* S席3,150円 A席2,250円

*前売のみ/スタンダード会員2枚まで・ライト会員1枚まで/U-25チケットは対象外

全席指定

プレイガイド

フェザン、なはんプラザ、江釣子SCバル、
盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、
キャラホール、姫神ホール、
盛岡市文化振興事業団インターネットチケットサービス

チケット発売
8月20日

お問い合わせ

盛岡市民文化ホール Tel.019-621-5100

※m-Friendsチケット及びU-25チケットは、盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、キャラホール、姫神ホール、盛岡市文化振興事業団インターネットチケットサービスでの取り扱いとなります。

※U-25チケットは公演日時時点で25歳以下の方が対象となります。購入時及び公演当日に年齢の分かる身分証をご持参ください。なお、対象外の方が利用された場合は、前売料金との差額を当日頂戴します。

※車イス席のチケットは、盛岡市民文化ホールのみでのお取り扱いとなります(全6席/前売料金3,500円、m-Friends割引対象)

※盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、キャラホール、姫神ホール、盛岡市文化振興事業団インターネットチケットサービスにて同じ残席状況からご購入いただけます。

※未就学児はご入場いただけません。

盛岡市文化振興事業団
インターネットチケットサービス(登録無料)
<https://p-ticket.jp/mfca/terms>
スマホで登録する方はこちらから▶





クシシュトフ・ウルバニアク

〈オルガン〉 Krzysztof Urbaniak

ブレーメン芸術大学において歴史的オルガン教授を務める。また同大学附属アルプ・シュニットガー・オルガンおよびオルガン建造研究所の所長。クラクフ音楽アカデミーのオルガン科教授でもある。ブレーメンでは北ドイツの豊かなオルガン文化遺産を中心とした教育を行い、クラクフでは近年再発見や修復が進められている歴史的オルガンを段階的に教育に取り入れている。

オルガンおよびチェンバロをシュトゥットガルト音楽大学およびワルシャワのショパン音楽院で学び、修士課程、芸術家課程、演奏家資格試験に合格した。ユゼフ・セラフィン、ルートガー・ローマン、イェルク・ハルベック、レシェク・ケンドラツキの各氏に師事。2012年にクラクフにて博士号を取得し、2016年に教授資格を取得した。

数多くの国際オルガン・コンクールで入賞を果たしたが、主な受賞歴としてアルプ・シュニットガー国際オルガン・コンクール第1位(ブレーメン、2010年)、ウィレム・ヘルマンス国際コンクール第1位(ピストイア、2009年)、第5回ポーランド・オルガン音楽コンクール第1位(レグニツァ、2002年)が挙げられる。

また、国際的なオルガン・コンクールの審査員も多数務めており、武蔵野市国際オルガン・コンクール(2023年)、ディートリヒ・ブクステフーデ国際コンクール(リュベック、2022年)、スヴェーリンク国際コンクール(グダニスク、2021年)、シュニットガー国際オルガン・コンクール(アルクマール、2015年・2019年)、ゴットフリート・ジルバーマン国際コンクール(フライベルク、2017年)などに名を連ねている。

この20年以上にわたって精力的な演奏活動をしており、ヨーロッパ各国のほか日本および韓国でも演奏を行ってきた。

ポーランドのパスウェンクにおいて、1717~1719年製アンドレアス・ヒルデブラント・オルガンを擁するオルガン音楽祭および国際オルガン・アカデミーの創設者兼芸術監督を務めている。また、オルクシュにおいては、ハンス・フンメルおよびゲオルク・ニトロフスキによる1611~1631年製オルガンを擁するECHO(欧州歴史的オルガン都市)芸術監督を務めている。

オルガン専門家として、ヨーロッパ各国における多数のオルガン修復および新作プロジェクトに助言を行ってきた。またレコーディングは定期的に発売しており、複数枚がドイツ・レコード批評家賞にノミネートされた。加えて楽譜出版や歴史的オルガン建造および演奏実践に関する学術論文も多数発表している。最新の主要出版物として、オルクシュのオルガンと、フンメル、ニトロフスキ、ブラントナー各オルガン製作一族を扱った2冊の研究書(Ortus Musikverlag、2024年)がある。

2023年よりポーランド国立文化遺産研究所に設置された「歴史的オルガン部門」のメンバーを務める。ここは約1万台に及ぶポーランド国内の歴史的オルガンの目録化および分類を担う、ヨーロッパでも類を見ない専門機関である。



盛岡市民文化ホール事業のご案内

プロムナードコンサート2026 101st 〈クリスマス・チャリティ〉

2026年12月19日(土) 開演 17:00(開場16:30/終演予定18:00)
盛岡市民文化ホール 小ホール 入場券取扱い開始: 11月12日(木)

〔演奏〕 渋澤 久美(盛岡市民文化ホール オルガニスト)・伊禮 しおり(ヴァイオリン)

入場料(寄付金) 1,000円(全席指定) ※自治体が設置する公的基金へ全額寄付します。



渋澤 久美



伊禮 しおり